

コロナ禍と物価高騰で 生活弱者を支える多角的寄り添い支援

信州子ども食堂

新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成

2023年7月～2023年10月

ネットワーク 便りでつながる 力

＜信州子ども食堂ネットワーク便り＞ 2023年08月29日 No.1111

学生の参加で 活気ある食堂

中野市 なかの子ども食堂 第49回-50回

7月29日(土)の「なかの子ども食堂」の参加者は、子ども17人、大人12人、スタッフ13人(うち学生6人)、テイクアウト4人分の合計46人でした。

メニューは、梅しらすごはん、豚肉生姜焼き、ポテトサラダとミニトマト、そうめん汁、ゼリー、麦茶、ポカリスエット。梅しらすごはんは、「梅苦手」「酸っぱいの苦手」と白ご飯を要望する人もたくさんいて、今後の課題でした。

毎年恒例の「サマーチャレンジボランティア」。今年は2名の高校生が参加しました。前日の打ち合わせから参加しても当日を迎えました。ほかに「新聞を見て参加しようと思った」という高校生と、以前から来ている大学生と高校生、小学生も参加し活気がありました。

七夕飾りをつかったり、けん玉をしたり楽しく過ごしました。

開催60回を迎えた、8月26日(土)は、夏のお楽しみとして、みんなでビンゴ。学生スタッフが盛り上げ、景品は手芸大人16人、スタッフ11人の47人。「ビンゴが楽しみ」という小学生、家族できた方、近所の高齢の方、初めて来た方、みんなで楽しみました。

メニューは、夏野菜カレー、福神漬、温玉添えのシーザーサラダ、すいか、麦茶、NPOホットライン信州提供のチョコでした。すいかは、スタッフの菜園でとれたもので、大小10個以上届きました。大きな2個を切り分け十分にいただきましたが、ほかは参加者のお土産になりました。

みなさんありがとうございました。

＜編集＞信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
特定非営利活動法人NPOホットライン信州 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



＜信州子ども食堂ネットワーク便り＞ 2023年11月04日 No.1134

みんなで楽しむ ハロウィン♡

松本市 ハロウィンときめき♡子ども食堂

10月14日(土)、主催：松本深志ライオンズクラブ、共催：NPOホットライン信州(信州子ども食堂まつり)が、松本市花時計公民館で開いた「ときめき♡子ども食堂」。子ども580名をむ約870名(主催側発表1500人)が参加しました。

エクセラシオン高校生による「お菓子釣り大会」や「折り紙づくり」、キッチンカーによるおいしい餃子とチキンに長蛇の列ができました。ほかに、キーマンカレーやホットコーヒー、ハロウィンクッキーなど。

会場では、ハロウィンときめきコンサート♪子ども達によるハロウィンステージにみんなが感動しました。

「信州子ども食堂」による支援物資や生活用品などの配布と個別相談コーナーなど、みんなでにぎやかにハロウィンを楽しみました。

「炊き出し隊」による非常食調理教室。多くの皆さんの協力により成功裡に終わりました。皆さんお疲れさまでした。

＜編集＞信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
特定非営利活動法人NPOホットライン信州 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます

＜本部事務所＞
松本市寿北5丁目4番28-1
電話 0263-75-8368

＜各地域拠点事務所＞
長野市三本柳西2-74(にっこりFD.B)
電話 080-3418-0088
台風19号被災地 長野市上駒沢356-102
電話 090-6473-9455
塩尻市片丘7900 信州子ども食堂 in しおじり
電話 090-9118-5899
上田市七瀬2885-3 まるこ福祉会
電話 090-5329-1653

無料相談・問い合わせ
0120-914-994

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州
E-mail: yff52160@nifty.com <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>
団体の設立2011年3月30日 法人の設立2014年4月1日
== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==



信州子ども食堂ネットワーク便り 目次

2023年7月～2023年 10月

No	市町村	食堂名など	日時・期間
1110	上田市	こどもレストラン“きらっと”	5月6日・7月1日・8月5日
1111	中野市	なかの子ども食堂	7月29日・8月26日
1112	長野市	寺子屋こどもカフェ 2頁	6月～8月
1113	松本市	笑和はうす	8月5日・8月11日
1114	長野市	こどもカフェお日さま 6月号	6月7日・14日
1115	長野市	こどもカフェお日さま 7月号	7月12日・19日
1116	茅野市	コミュ・きっちん天香	8月
1117	小諸市	信州こども食堂inこもろ	7月22日・8月26日
1118	長野市	信州こども食堂	8月19日
1119	松本市	信州こども食堂in松本どん八・学び塾	8月10日・8月26日
1120	松本市	信州みんなの食堂 2頁	8月
1121	松本市	笑和はうす	9月9日・9月16日
1122	松本市	松本ライオンズクラブ	8月6日・9月16日
1123	長野市	こどもと誰でも食堂	7月～10月
1124	長野市	寺子屋こどもカフェ	9月9日
1125	諏訪市	信州こども食堂inすわ「ちゃんちゃんこ」	8月19日・9月16日
1126	茅野市	コミュ・きっちん天香	9月
1127	松本市	信州こども食堂inバロー南松本店	8/20・9/10・10/8
1128	長野市	信州こども食堂古里カフェ	9月10日・24日
1129	松本市	信州みんなの食堂	9月
1130	松本市	寄り添いこども食堂	9月25日
1131	生坂村	居場所み～つけた！	10月1日
1132	中野市	なかの子ども食堂	9月23日・10月28日
1133	茅野市	コミュ・きっちん天香	10月
1134	松本市	ときめき♥こども食堂	10月14日
1135	長野県	信州こども食堂	10月7日
1136	長野県	信州こども食堂	10月7日



体験・遊び・学び とおいしい食事

上田市 こどもレストラン “きらっと”

上田市の（社福）まるこ福祉社会障害福祉サービス事業所 ‘きらり’ で開く「こどもレストラン “きらっと”」。
第57回目になった5月6日（土）は、児童51名を含む118名が参加。体験メニューで和菓子「道明寺」を作りました。



食事メニューは、鶏肉「真田丸」のすいとん、大阪風たこ焼き、オレンジ、りんごのコンポーネント、生野菜、甘酒、ソフトドリンク。



手形アートに挑戦し、折り紙でも遊びました。

第58回は7月1日（土）。児童30名を含む104名が参加。お昼は、カツカレーと、もろこしなど。



アウトドアで命に係わる山と川の話聞き、お姉さんたちとじゃんけんやリボンおにごっこを楽しみました。

お昼は、立科シンフォニーの演奏を聴きながら♪



第59回は8月5日（土）。児童37名を含む87名が参加。お昼は、夏バテに負けないよう「うなぎ丼」と生野菜、スイカなど。



体験メニューでメロンパンをつくり、スイカ割を楽しみました。また、原爆と戦争の悲惨さを、みんな真剣に聞きました。



流しそめんや 手品など楽しく

長野市 寺子屋子どもカフェ



長野市の東和田公民会で開く「寺子屋子どもカフェ」。
6月10日（土）の参加者は子ども36名を含む53人でした。大学生のお姉さんがボランティアで来てくれ、勉強を教えてください、子どもたちとたくさん遊んだりしてくれました。



お昼ごはんの一番人気は、ちくわチーズフライ！すぐに終わってしまいました。りんごマカロニサラダも、たっぷりタケノコ炒め煮も、おかわりたくさんパリパリ揚げ菓子や寒天白玉イチゴあんみつも人気でした



7月15日（土）、雨のち曇りのお天気で、梅雨の終わりに無事開催できました。高校生のお姉さんが遊びに来てくれ、パパさんママさんと子どもたちもにぎやかでした！
NPO ホットライン信州からのアイスに大喜び。子ども46名含む83名の参加でした。



7月31日（月）、夏休み中の第1回目は、古牧地区防火・防犯・交通安全ポスターの上手な描き方を、美術家の丸山幹雄先生に教えてもらいました！参加は子ども42名含む44名でした。



夏野菜とフルーツもたくさん。サラダにお肉やグラタン、おふかつ、具たくさん味噌汁とトウモロコシご飯に、おいしいおやきまで！
デザートにフルーツポンチとアイスも！みんな大満足でお腹いっぱい！

8月7日(月)の参加者は子ども36名を含む計40名。夏休み第2回目も、前回に続きポスター描きです！美術家の丸山先生に、ポスター用のアクリル絵の具をいただいて本格的に教えてもらいました。そして大広間では、本格的な流しそうめんです。



玄関からホースをつないで、大広間の青竹を通り抜けて、東側の裏口へ流れる仕組みです。コトコト落ちる水の音、サラサラ流れる白い素麺、お椀に盛れた子どもたちの笑み、楽しくておいしい♪ 食べ終わった6年生が、今度はスタッフのみんなにそうめんを流してくれました。

8月14日(月)、夏休み中の3回目。この日は、地区の盆踊りの



予定でしたが、台風の影響を考慮して、残念ながら中止に。



そこで急きょ、寺子屋カフェをお祭り気分で遊べるようにしてもらいました。



射的や輪投げでお菓子ゲット！オリジナルうちわ作りも大人気でした。

8月26日(土)、夏休みも終わり8月最後の寺子屋子どもカフェの参加者は、子ども51名を含む84名でした。

すいせんマジックサークルの袿装則先生が登場。おなじみの白い鳥が飛び出して！ペットボトルの中にはカワイイ金魚？外から扇子で仰ぐと、あら不思議？！泳ぎだした？簡単な手品を教えてもらい、「できた〜！」と大喜び。袿装則先生ありがとうございました♪





学生の参加で 活気ある食堂

中野市 なかの子ども食堂 第49回-50回

7月29日(土)の「なかの子ども食堂」の参加者は、子ども17人、大人12人、スタッフ13人(うち学生6人)、テイクアウト4人分の合計46人でした。



メニューは、梅しらすごはん、豚肉生姜焼き、ポテトサラダとミニトマト、そうめん汁、ゼリー、麦茶、ポカリスウェット。梅しらすごはんは、「梅苦手」「酸っぱいの苦手」と白ご飯を要望する人もたくさんいて、今後の課題でした。



毎年恒例の「サマーチャレンジボランティア」。今年は2名の高校生が参加しました。前日の打ち合わせから参加してもらい、一日の流れを踏まえてやりたい活動の心づもりをして当日を迎えました。ほかに「新聞を見て参加しようと思った」という高校生と、以前から来ている大学生と高校生、小学生も参加し活気がありました。



七夕飾りをつくったり、けん玉をしたり楽しく過ごしました。

開催50回目を迎えた、8月26日(土)は、夏のお楽しみとして、みんなでビンゴ。学生スタッフが盛り上げ、景品は手芸の得意なスタッフが作ってきました。参加者は、子ども20人、大人16人、スタッフ11人の47人。「ビンゴが楽しみ」という小学生、家族できた方、近所の高齢の方、初めて来た方、みんなで楽しみました。



メニューは、夏野菜カレー、福神漬け、温玉添えのシーザーサラダ、すいか、麦茶、NPOホットライン信州提供のチョコでした。すいかは、スタッフの菜園でとれたもので、大小10個以上届きました。



2個を切り分け存分にいただきましたが、ほかは参加者のお土産になりました。

みなさんありがとうございました。





ブリトー作りと 楽しい観劇会

松本市 笑和はうす

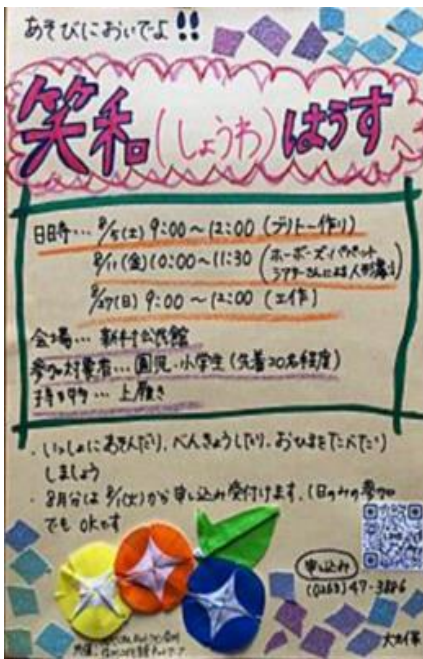
8月5日(土)、松本市の新村公民会で開いた「笑和はうす」の参加者は、子ども13人と大人13人。

毎回大人気の調理活動では、ホットケーキミックスを使って、ブリトーを作りました。ホットケーキミックスに、白玉粉、塩、水を混ぜて、おたまですくって、広げて、ひっくり返してホットプレートで焼きます。「ここは熱いから触っちゃダメだよ」と、大きい子が小さい子に注意する姿も😊。焼けたら、卵サラダ、ハム、チーズ、レタス、ツナサラダを好みではさんで巻いて完成😊



お楽しみは、集団あそび。フルーツバスケットやじゃんけん遊びを大人も一緒に楽しみました😊みんなで遊ぶと楽しいね♥

いっぱい遊んでおなかのすいたら、お待ちかねのお昼。メニューは、ブリトー、鉄火なす、フライドポテト、トマト、黄色いスイカ、マカロニサラダ、フルーツポンチ。自分で作ったブリトーに大満足😊おかわりもたくさんして、ニコニコ笑顔の子どもたちでした😊



8月11日(土)は、安曇野市からボーボーズ・パペットシアターさんをお呼びして、夏のお楽しみ♥観劇会。

「おじいちゃんとおたぬき」のお話して、可愛い人形たちの登場に、舞台上に釘付けになる子どもたち。子どもも大人も心も体も人形たちといっしょになって楽しんでいました😊

参加は子ども26人と大人16人でした。



メニューは、防災食の五目ご飯のおにぎり、唐揚げ、卵焼き、天ぷらまんじゅう、ウィンナー、ミニトマト、きゅうりの浅漬け、パプリカとナスの味噌和え。



「おまんじゅうの天ぷらなんて、はめめて～」と話す子どももいて、笑顔があふれていました。

宿題を終わらせて、 軽食も食べよう！

6月

7日・14日開催

長野市 こどもカフェお日さま

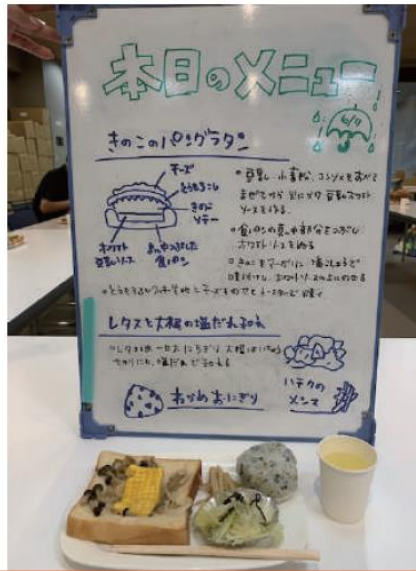


●6月7日(水)



子ども7人を含め15名が参加して行われました。

頭を抱えて宿題に取り組む子や、クッションボールを投げて遊ぶ子と、様々な姿が見られました。メインのパングラタンには、コーン味の生地を乗せて焼きました。



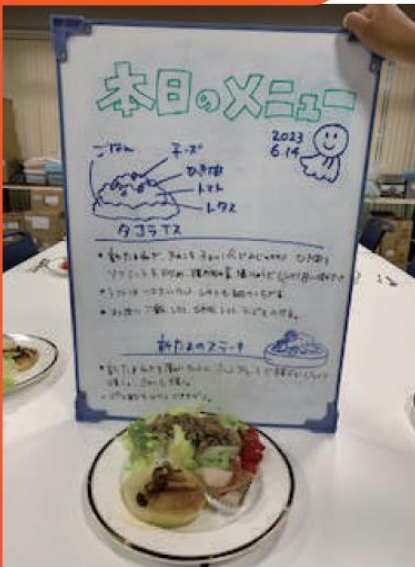
- きのこのパングラタン ●わかめおにぎり
- レタスと大根の塩だれ和え ●淡竹のメンマ



●6月14日(水)

子ども10人を含め18名が参加しました。

JAながの様よりいただいた新玉ねぎをふんだんに使用し、タコライスと新玉ねぎのステーキにしました。ステーキは新玉ねぎの甘さと柔らかさが口の中でとろけました。沖縄が発祥のタコライスを「食べたことがない」という子が多くいましたが、実際に食べてみるとあちらこちらから美味しい！という声が上がっていたのが印象的でした。



- タコライス ●新玉ねぎのステーキ
- カブとウィンナーのソイミルク煮



どれにしようかな～とパンとお野菜を選んでいる親子さん



西部中学にお邪魔してきました

6月21日(水)
りんどう探究塾



6月21日(水)14:55～15:25の30分間、長野市立西部中学校の多目的室にてりんどう探究塾が行われました。こども食堂に興味のある1年生～3年生36人がお話を聞きに来てくれました。1学期に探究テーマを決めて、2学期に調査・追究したことを、3学期に発表する活動だそうです。生徒さんたちは活発に手をあげて発言してくれたりして楽しい時間を過ごすことができました。2学期に体験・体感をしに来てくれるのをお待ちしております。



SDGsとこども食堂の関りの紙芝居を聞いた生徒さんからの感想↓

今日は、旭寮の方にお越しいただいてお話しいただきました。『子どもカフェ』についても理解を深めることができましたのでよかったです。今日の話を中心に、今度の活動テーマを決めていきたいです。

暑い夏！冷たい アイスが美味しい

7月

12日・19日開催

長野市 こどもカフェお日さま



コロナ感染症対策の為、7月は旧旭寮にて開催しました

旧旭寮では十分な調理設備が整っていないため、簡単な軽食の提供になりました

●7月12日(水) 旧旭寮の一部をお借りして子ども7人、ボランティア9人を含み合計16人が参加しました。子どもたちはミニカーで遊んだり、冷たいアイスをはおぼって嬉しそうに過ごしました。



たくさんの野菜とパンが並び、どれにしようかと嬉しそうに悩んでいました。

ベビーフードやパン・野菜などの物資の提供がありました。
沢山の食材を前に、参加者さんからは「物価高の今、沢山もらえてありがたいです！」とのお声をいただきました。

- わかめ・ふりかけおにぎり
- インスタント味噌汁
- アイスクリーム

子ども10人を含め16名が参加しました。

来場者の子どもにはコインをプレゼントして、飴入りのガチャガチャができます。大人の方は協力金として1回¥100でガチャガチャが引け、中には飴と当たりの折り紙が入っています。娘に100円玉を持たせてガチャガチャを引かせ、当たりがでたお母さんは物資を多めにもらい、とても喜んでいました。



- わかめおにぎり
- インスタント味噌汁
- アイスクリーム
- フローズンヨーグルト

↑先生に教えてもらいながら算数の宿題を頑張っているお子さん

ベビーフードのヨーグルトを凍らせたフローズンヨーグルトが人気でした。

●7月19日(水)



楽しそうにガチャガチャを引くお子さん「もっとやりた〜い」と大興奮でした



高校生が大活躍 した8月の天香

茅野市 コミュ・きっちん天香

8月の「コミュ・きっちん天香」の参加者は、子ども 395人と大人 146人の合計541人でした。8月3日のメニューは、ハンバーグとサラダにバナナ。夏休み中の地元高校生が、お弁当の用意や片付けをサポートしてくれて、とても助かりました。



8月10日は、テンハウの餃子に夏野菜の炒め煮、もろこし。餃子を届けに来てくれたテンハウの大石社長が、ボランティアの高校生に「(世の中に)貢献していて偉いね」と声をかけてくださいました。子どもたちは、その一言がすごくうれしかったようです。

8月17日は、肉じゃがにスイカ、もろこし。夏休みも終盤。ボランティアの学生さんも学校が始まります。短い期間でしたがありがとうございました！私が言うのもなんですが…経験は全て人生の糧です。これからもいろいろなことに興味をもって体感してってください。



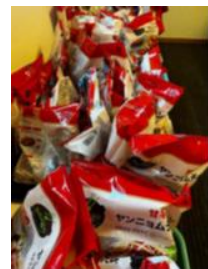
8月24日は、防災食のクリームシチュー缶を使った夏野菜と甘辛チキンのクリーム煮、赤いもろこし(大和ルージュ)、ピーツの炒め物。そして宮川小学校に通う濱夏萌さんが愛情たっぷりで育てたスイカ。甘くてジューシーで、とても美味しかったです。



高校生ボランティアは、缶切りで缶のふたを開けるのに初挑戦。神妙な面持ちで開けていました。40歳ちがうと生活様式が全然違うんだなー、と改めて実感しました。



8月31日は、夏野菜チキンカレー、モチもろこしご飯、プチトマト、とうもろこし。NPOホットライン信州からいただいた甘辛チキンとカレーを使って、野菜をたっぷり煮込み、隠し味にみそと練乳を入れました。



今月もたくさんのご支援をいただきました。ケンタッキーフライドチキン諏訪インター店さん。(株)テンハウ・フーズさん。(有)UNさん。いろいろな野菜を斎藤商店さん、矢崎さん、小池さん、平林さん、ハケ岳中央農業実践大学校さん、本ねえさん、明子さん、ヤママヤーファーム山城さん、地域の方、槐さん、山本さん、NPOホットライン信州さん。ありがとうございました。



みんな笑顔の おいしいお弁当

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ

小諸市の相生会館で毎月開く「信州子ども食堂 in こもろ」。
7月22日(土)の参加者は、子ども29名、大人22名、スタッフ
29名の合計80名。「小諸商業高校ボランティア部」の生徒さんも来て
くれました。



メニューは、シラスコロッケ、ズッキーニポト、玉ねぎ味噌炒め、キュウリの梅肉あえ、ニンジングラッセ、ゆでいんげん、ミニトマト、サニーレタスでした。



パチンコのダイナムさんから8人が来て、着ぐるみで子ども達にお菓子を配ってくれました。また、シラスコロッケ100個もいただきました。



第84回目になった8月26日(土)は、子ども32名と大人48名の合計80名が参加。



メニューは、キーマカレー、ポテトサラダ、インゲンのごま和え、大根の糠漬け、メロン、ゆでトウモロコシ、ミニトマト、サニーレタスでした。



ラインで聞いたところ、「今回も美味しいお弁当ありがとうございました」、「みんなあっという間に完食しました」、「野菜もたくさんいただきありがとうございます」、「スタッフの皆様、いつも笑顔で迎えていただきありがとうございました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです」、などの感想をいただきました。



当面は、今のお弁当のテイクアウトで行い、様子を見て、食事会にもどすこととしたいと思います。好き嫌いが少しでも解消できるよう今後も100回に向け挑戦しようと思います。





初のバイキング 会場での食事も

長野市 信州子ども食堂

8月19日(土)、長野市の「信州子ども食堂」は、コロナ禍以降、持ち帰りのお弁当で対応してきましたが、今回から会場内での食事でも、お持ち帰りでも、ご希望により対応できるよう、バイキングにしました。参加者は、子ども132名含む225名でした。



お持ち帰りの方は、自分で好きな物をパックに詰めていただき、会場内で食事をした方は、お皿にそれぞれ好きなものを取ってお腹いっぱい食べてもらうという、信州子ども食堂では、初めての試みでした。

参加者の様子をのぞくとなかなか楽しそうで、久しぶりの会食にちょっぴり不安のあったスタッフも安心でした。



※次回の信州子ども食堂は、10月になります。

9月16日の土曜日は、ふれあい福祉センターが
使えないので、お休みです。

10月は、7日(土)に篠ノ井交流センターで、
21日(土)はふれあい福祉センターでと、2回の
開催となります。皆さまどうぞお出かけください♪

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



真夏を楽しんだ どん八と学び塾

松本市 信州子ども食堂 in 松本どん八・学び塾



8月10日(木)、「信州子ども食堂 in 松本どん八」は、子ども58名を含む105名が参加。メニューは、王将弁当100食に、どん八のいなり寿司。炊き出し隊みらいによる夏の災害時で喜ばれる「マンゴなどのかき氷」に、ロッテさんからのアイスでした。



帰りは、アプロ様のお菓子や玄向寺様のドーナツ、ティンカーベルのパン。又、野菜と長野畜振様から瓶牛乳などをたくさんいただき、「夏休みの食費がとても助かる」と感謝の声でした。



8月26日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本学び塾」は、子ども88名を含む122名が参加。メニューは、餃子の王将様お子様弁当、キューピーみらいたまご財団様の果肉たっぷりマンゴーのかき氷、長野畜振様の瓶牛乳でした！さらにローソン様のアイスに、突然の豪雨の中でのスイカ割りは大盛り上がり！お腹いっぱい大満足でした！！



エクセラン高校性によるビーズアクセサリー作りでは可愛い作品を「見て、見て」と、防災体験の水鉄砲も子どもたちに大人気！デリシア様の寄贈お米2kgに、サンエイ様のお菓子や玄向寺様のドーナツ、ヤンニョムチキン、野菜、マスク、石鹸などたくさんいただき感謝の声でした！！



心地よい居場所 みんなの食堂

松本市 信州みんなの食堂



8月の「信州みんなの食堂」は、5回開催し、子ども98人を含む158人が参加しました。夏休み期間中は、自宅で待たせてしまう時間がかわりそうなので開場時間を1時間早めてオープンしました。



8月2日(水)は、3時から開催。松本市筑摩から高校生が一人でお手伝いに来てくれました。冷房が効いた部屋で夏休み帳やお絵かきなどで過ごした後は、外へ出てスイカ割り。小さい子から順番に棒を持って挑みます。周囲の応援が素晴らしく、全員が当てられたので、用意していた3個のスイカは見事に割れて完食できました♪



9日は、ゲーム大会。高校生と大学生、児童館で働くママもスタッフに加わり、カードやまんからなどゲーム大会を開催しました！

トーナメント制で勝ち残った人から好きな景品を選ぶことに。「優勝者からお菓子選んでね」と呼びかけたものの、勝ち負けにかかわらず、その場にいた子どもたちで平和にお菓子を分け合いました。「これ妹が好きだから」と、おもちゃを選んだお兄ちゃんもいました。



16日は、おやつに綿あめを作って食べました。口の中ですぐに溶けてなくなる綿あめ…。食事の配膳時間まで絶えない行列。ザラメをそのまま食べる子どもが何人もいてびっくり。それでも誰も、スイカとカレーは残しませんでした(笑)



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



23日は、いただいた23個の小玉スイカとメロン、みかん、リンゴジュースを使って、夢のフルーツポンチを作りました。豆腐入り白玉も加えて豪華なおやつでしたが、夕食の焼き肉は別腹♪楽しく、お腹いっぱい食べられる幸せを感じました。



NPO 法人ホットライン信州を中心に、子ども食堂にご寄付くださる皆さまにはいつも感謝の気持ちでいっぱいです。

30日は、「防災クイズ」で盛り上がる

松本大学2年生で防災士勉強中のスタッフが「防災クイズ」を発表。子どもたちは真剣に取り組みました。

防災食や避難場所、防災ヘルメットの管理方法などについて話し合い、関心を寄せていました。配布した防災食は、



コッペパンと豚汁。いつでも食べられるお菓子(カカオ)を一人ずつ配りました。



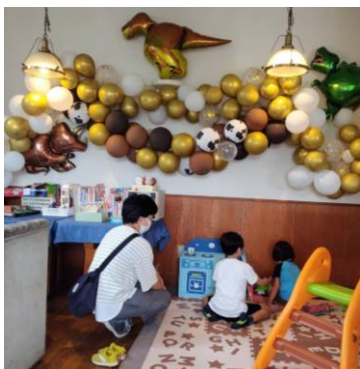
松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科2年生の中埜加那さんです。



新しく松本市島内から高校2年生がスタッフに加わりました！小学生に勉強を教えたいと張り切っていた彼女は、「宿題多くてイヤだ！」と嘆く3年生に対して熱心に対応していました。頼もしい仲間です♪



波田の自宅スタジオでカメラマンをしている子育て中のママが撮影で使用したバルーンを寄付し、取り付けしてくれました。



ここでは、子どもの居場所としての機能に加えて、おうちの人にも居場所を提供しています。支える人も支えられる人も、双方が心地の良い場所でありたいと思います。

学習と工作で 楽しく過ごす

松本市 笑和はうす



9月9日(土)の「笑和はうす」は、子ども18人を含む39名が参加。パフェ作りを予定していましたが、コロナや感染症が蔓延していたため、会食や調理は止め、密を避けて活動しました。



はじめは、学習タイム。宿題やプリントに一生懸命取り組む子どもたち。小さいお友だちは、塗り絵や粘土あそびを楽しみました。がんばったあとは、おやつの時間。NPO ホットラインさんからいただいたアイスクリームは、甘くて冷たくて美味しかったです。



次は、万華鏡作り。スタッフと一緒に切ったり貼ったり。中をのぞきこむとキラキラ光る万華鏡に、みんなうっとりでした。まわりにシールも貼って、世界で一つの万華鏡ができました。



お昼は、持ち帰りのお弁当にしました。メニューは、炊き込みご飯、春雨サラダ、高野豆腐の肉詰め、卵焼き、ウィンナー、きゅうり、ミニトマト。デザートにスイカ、りんご、シャトレーゼさんのプリンもつきました。



帰りには、お菓子や野菜のお土産もたくさんで、大人も子どもも笑顔いっぱいでした。



9月16日(土)は、子ども16人と大人12人の参加でした。学習時間では、持ってきた宿題や用意したプリント学習。小さいお友だちは、塗り絵を。15分間、みんな集中して取り組んでいました。



次は、前回から楽しみにしていた空気鉄炮作り。半分に切ったペットボトルに風船を被せて、持ち手をつけて完成。シールやマスキングテープでデコレーション。的にあてて楽しみました。



最後は、ダンボール、空き箱、ラップの芯など廃材を使った自由工作。お昼はバローさんの手作りのり弁当。おかずも盛りだくさん。ご提供ありがとうございました。



奉仕のこころ 感謝のつながる力

松本市 松本ライオンズクラブ



8月6日(日)、松本中央ライオンズクラブとNPOホットライン信州は「コロナ禍と物価高騰、さらに夏休みの食事でお困りの子どもと家族を支えよう」と「子ども縁日」と「信州子ども食堂」を開催しました。松本中央ライオンズクラブ 55周年記念の「フードドライブ」で集まった支援物資1万点・1.5トのご寄贈を受け、お弁当とおそば・綿あめ・災害食品・お米、持ち込まれた食材や衣類などを配布しました。



信州子ども食堂まつもと・寄り添い子ども食堂・ヒッポポ食堂・笑和はうす・Pur みんなの学校の5つの食堂がブースを出し、参加者は子ども120名を含む約200名でした。



防災の非常食を勉強する子どもたちと、悩みごとなどの相談に対応する相談員(上)



創立 55 周年～社会貢献の意欲新たに!!

9月16日(土)、松本ライオンズクラブ創立55周年記念大会式典が開催されました。招待を受けて参加したNPOホットライン信州の青木専務は、4団体へ記念品の目録を授与されたので、55年の半世紀を超える中で、多くの諸先輩の「奉仕のこころ」をつないできたご労苦に心より感謝をし、感謝状を青島会長に渡しました。



月に3回 気軽に利用を



長野市上高田 ともども誰でも食堂



長野市上高田の宅老所「おいでなして」で月に3回開く「ともども誰でも食堂」。

季節の食材をつかって毎回60食ほどお弁当を提供しています。ご希望に応じて、室内での食事もお受けしています。お友だちを誘って、ご予約のうえお出かけください。



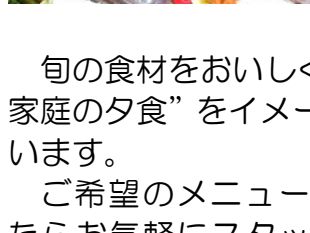
エビフライ、ナスとカボチャなどの天ぷらなど

市内外たくさんの方々がお寄せくださる季節の野菜をはじめ、JA ながのの食材支援、長野地域振興局経由のご寄贈の品々をありがたく使いながら、毎回バラエティに富んだお弁当をつくっています。

直近にいただいたもので、献立が変わることもあります。



うなぎ、ギョウザ、ベーコンとピーマンの炒め物、カボチャ、ミニトマトなど



旬の食材をおいしくいただく“一般家庭の夕食”をイメージして運営しています。

ご希望のメニューなどがありましたらお気軽にスタッフへお声がけください。

場所はこちら⇒
上高田保育園から歩いて数分です



<2023年の開催予定>

- 10月5日(木)、17日(火)、30日(月)
- 11月9日(木)、17日(金)、27日(月)
- 12月7日(木)、18日(月)、27日(水)

16時頃までに予約の電話をお願いしています。予約がなくても、ある程度は出せるよう用意していますが、なくなったら、ごめんなさい。次回は早めに予約をお願いします。

ご予約は、090-5426-3764 高橋



クイズで学んだ 防災の取り組み

長野市 寺子屋こどもカフェ

9月9日(土)、長野市の東和田公民館で開いた「寺子屋こどもカフェ」、参加者は子ども38名を含む56人でした。わいわい遊んだ後は、子どもたちで『突然の災害…防災の取り組み』について、勉強会をしました。



「9月9日は何の日か知っている?」「9…9…、あ! 救急の日」「じゃあ、9月1日は?」

「…なんだっけ?」「防災の日!」「防災、知っている! 僕けっこう防災博士だよ!」、そんな会話からはじまった防災クイズ。災害時の避難の仕方などのイラスト、二者択一クイズのプリントを配りました。「緊急速報です! 緊急速報です!」とテレビのアナウスの真似をする6年生のKくんが、みんなの前で防災クイズを読み上げました。

外で地震がおきたら、①建物の近くに行く②建物からすぐにはなれる。①だと思う人②だと思う人。はい、全員正解です!

大雨が降ったら、雷が鳴ったら、火事がおきたらと、簡単な内容でしたが、低学年の子たちは上級生を見ながら手をあげて安心した様子でした。



イラストには空白の吹き出しをつけ、思い思いのセリフを書き込んでもらいました。セリフを書くことに集中していた子が多くいました。

発表するのは恥ずかしいようで、あまり進みませんでした。災害時をイメージして子どもたちなりの防災対策のキッカケになれば幸いです。





暑さ厳しい中でも も楽しく開催

諏訪市 信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」

夏休み最後の土曜日、8月19日、第84回信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」。10家庭27名の方々とボラ・スタッフあわせて41名の参加でした。

朝から暑い1日で準備に少し動いただけでも汗が噴き出てきました。厨房はガスコンロ全開で一気に室温が上がりました。



メニューは、焼きそばとおにぎり、かき玉汁、テンホウさんのギョウザに、フルーツのヨーグルト和えでした。かき玉汁がとても美味しく卵がふわふわだったので、どうやって作ったのか気になる方が多かったようです。



手慣れたボランティアが配布物の仕分けと袋詰め。消費期限を確認して、個数を数え、それぞれ同じになるように分けました。子どもたちはお絵かきをしたり、段ボールで工作をしたりしていました。

9月16日(土)は、3連休の初日ということや運動会の行事と重なったためか、いつになく参加者が少なめで10家庭の参加でした。

メニューは、ちゃんちゃんこ農園で収穫したジャガイモやズッキーニ、ナスを入れた夏野菜のチキンカレー、キャベツのコールスロー、フルーツポンチに野菜ジュース。ボランティアさんが差し入れてくれたミニトマトもとても甘かったです。



大型絵本と人形を使って3人がかりで「はらぺこあおむし」を演じてもらいました。

前回、魚釣りのゲームをしましたが、今回はそれをお菓子に変えて、お菓子釣りゲームにしました。それぞれ好きなお菓子をめがけて釣り糸を垂らしていました。



今回もテンホウさんのギョウザと、織田様とブルーランジェリー・リュミエール様からのパン、ホットライン信州からの飲み物やお菓子など。たくさんのおみやげを持ち帰っていただきました。





学習支援で 勉強もしっかり

茅野市 コミュ・きっちん天香

9月の「コミュ・きっちん天香」の参加者は、子ども395人と大人135人の合計527人でした。

NPO ホットライン信州から食材や生理用品は、とても助かると喜ばれました。

9月7日のメニューは、親子丼、もろこし、ブロッコリー、煮りんご、トマト。

先生が大勢いたためマンツーマンで、にぎやかな学習支援でした。



9月14日は、NPO 法人サポートCのみつばちプロジェクトの日。いろのみさんがピアノとヴァイオリンの演奏を届けてくれました。

メニューは、テンホウの餃子とトマトカレー、スイカ。かてんぐらでのお弁当配布時に野菜もたくさん配布しました。

9月21日のメニューは、豚肉と大根の煮物、コールスローサラダ、シマウリのみそ漬物、もちもろこしの混ぜご飯。

たくさんいただく寄付の野菜もいつの間にか秋の野菜に代わってきました。

いま天香の旬は、かぼちゃです。



9月28日のメニューは、Soy屋さんのお弁当、鶏団子の酢豚風、春雨サラダ、わかめご飯、ゼリー、巨峰。高校生のお兄さんがサポートして、しっかり集中して勉強した後は、みんなでトランプしました。

今月もたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。



毎月にぎわい 過去最高を更新

松本市 信州子ども食堂 in バロー南松本店

松本市のバローで開く「信州子ども食堂 in バロー南松本店」。8月20日（日）の参加者は202名（うち子ども128名）と、過去最高のにぎわい。

メニューは、たこ焼きに、バローパン、お菓子、お豆腐、綿あめ。たこ焼きを初めて焼くと言う子ども達も、ドキドキしながら「すごく美味しく焼けた！家でもやる！」とあられる笑顔がいっぱいの大喜び喜んで帰って行きました。



「子ども広場」では、バルーンアート、エクセラン高校生による缶の積み上げ大会、ボンボン釣り体験、おばあちゃんの指人形遊びを楽しんだ子どもたち。



9月10日（日）の参加者は240名（うち子ども142名）と、過去最高だった8月をさらに上回るにぎわい。

メニューは、ジャガイモピザ、バローパン、びん牛乳、お菓子、お豆腐、綿あめ。



「子ども広場」でバルーンアート、ゴム鉄砲、おばあちゃんの指人形遊び、紙芝居を楽しむ子どもたちに安心して、お母さんらは買い物をしました。

10月8日（日）の参加者は232名（うち子ども122名）。メニューは、和風パスタ、バローパン、びん牛乳、お菓子、お豆腐、綿あめ。



帰りは、お米やアイス、お菓子などの無料配布。「物価高騰の中、毎回とても助かります」など、感謝の言葉をたくさんいただきました。



屋外で楽しんだ 出張子ども食堂

長野市 信州子ども食堂古里カフェ

「信州子ども食堂古里カフェ」は、9月の「信州子ども食堂 古里カフェ」は2回(9/10日と24日)ありました。9月10日(日)、長野市のアグリながぬま第2駐車場で「出張子ども食堂」を開催しました。参加は子ども26名を含む51名でした。コロナ禍で学年閉鎖などの状況の中、急きよ稲荷寿司、鳥唐揚げ、餃子、巨峰のお弁当を作り、各自家で食べてもらいました。



フリーマーケットもにぎわい、ポップコーンやアイスをおいしくいただきました。

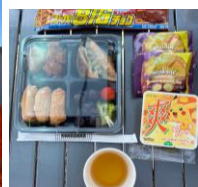


スタッフ相手に、水鉄砲で消火訓練。びしょりになった服も猛暑ですぐに乾いて楽しい1日になりました。帰りにお弁当と食材、お菓子をもって家路につきました。



9月24日(日)は、デイサービス太陽とのコラボ企画で「出張子ども食堂」。参加は子ども69名を含む134名でした。

演奏を聴きながら、屋台のわたあめ、ポップコーン、焼きそば、お好み焼き、巨峰やアイスをいただきました。



グループホームからの参加者は、「屋台の食事、わたあめ、ポップコーンが懐かしく昔の若い頃を思い出した」と笑顔で話してくれました。





手伝いも楽しい 大家族のおうち

松本市 信州みんなの食堂

9月の「信州みんなの食堂」は、4回開催し、子ども88人を含む134人が参加。9月は「防災期間」ということで、防災士の資格取得をめざして勉強中の中埜さんが作ってくれた「防災クイズ」を掲示。各自で答え合わせしながら、防災を身近に感じてもらいました。



6日（水）は、学校帰りの子どもたちが高校生や大学生とスイカを食べながら宿題に取り組んでいました。地元の方からいただいたトウモロコシで「じゃがいもとひき肉のコロッケ、トウモロコシ入り」。提供くださる方々のおかげで、子どもたちは「好きなものをたくさん食べられる喜び」を感じ、おいしい・うれしいが広がっています。



13日は、おやつに地粉を使ったクレープを作って好きなトッピングにして食べました。一人2枚までにしていましたが、後引く旨さに我慢できず、耳元でこっそり「皮だけちょうだい」とささやく少女たち。



20日は、高校生ボランティアと一緒に配布用お菓子の袋詰め。「人の役に立つ」経験は、年齢に関係なく自尊心を育みます。「お手伝いしたーい！」と厨房に来る子には、何かしら頼みます。「助かったよ、ありがとう」と伝えると、にんまり笑顔が返ってきます。



26日は、お月見団子づくり。子どもたちがコロコロ丸めて、スタッフがゆでて、もっちり仕上がった団子に、みたらしタレを絡めました。



毎週届く新鮮なきゅうりは、「浅漬け」が大ヒット。必ずお代わりする子どもたちがいて、ついには、皿を下げ終わった後にも。残った浅漬けを見つけると、「全部食べていい？」と、うれしそうに持っていきました(笑)。



秋に届いた旬の 大喜びフルーツ

松本市 寄り添い子ども食堂

9月25日(月)の「寄り添い子ども食堂」の参加者は、
子ども55人を含む106人でした。

暑かった夏から少し肌寒く感じるほど、急に秋の空気に
変わった中での開催でした。

前日の24日(日)には、ひとり親家庭対象のフードパ
ントリーを開催し、食品詰め合わせとお米等の配布を行いま
した。こちらも定期的開催していきます。



今月のメニューは、中華丼、
餃子、焼売、ポテトサラダ、シャインマスカ
ット&ピオーネ。餃子は NPO ホットライン
信州を通していただいたもの。ぶどうは地元
の農家さんが「子ども達に食べさせてあげて
ください」と、届けてくださいました。あり
がとうございます! 旬のフルーツはみんな
大喜びでした。



生活体験は、LION「おくちからプロジェクト」で歯
磨きの大切さを学びました。

すごろくをしながら歯磨き習慣をチェック! 親子で
遊びながら学べる良い機会になりました。定期的に、歯
磨きについて見直していくことが大切だと思います。



NPO ホットライン信州を通していただいた、
フリーズドライ食品、飲料、お菓子、アイスなど
たくさんの物資をお渡しすることができました。
今回もたくさんの皆様の参加、ご協力ありがと
うございました。

防災学び笑顔が あられる居場所

生坂村 信州子ども食堂



10月1日(日)、生坂村の海洋センターで開いた子育て世帯を対象にした第「居場所み～つけた!」。子ども約74名含む106名が参加しました。はじまるのを心待ちにしていた子どもたちは「遊びに来たよ～」と元気な声をかけてくれました。



会場に設けた防災コーナーでは、非常食や携帯用トイレを体感。段ボールに水を入れるだけでご飯が炊けるアルファ米は興味津々です。のぞき込んだ先にあったのは、ホカホカの炊き込みご飯。思わず「お～」と声上がり、感心していました。おいしい炊き込みご飯は、持ち帰ってもらいました。子ども達は、防災クイズのコーナーで楽しく学び、自分たちのとる行動を改めて確認していました。



温かなおやきや具だくさんの汁物、防災ご飯、ドーナツ、お菓子、生活用品などを提供。ミニゴルフ大会は、大にぎわいでした。綿あめコーナー、段ボールで作ったトラック、バンブーダンスなど、遊びの広場の充実で満足したようです。また、毎回設ける「学びのコーナー」も定着しつつあり、宿題を持ってきて楽しく学んでいる姿がありました。



相談コーナーでは、子育てで悩むお母さんが相談したことで、笑顔に変わっていました。



外では、おいしい餃子を食べて満足感にあふれていました。NPO ホットライン信州等からのたくさんの支援物資は、とてもありがたく「助かります」と、皆さんに喜んでいただきました。

皆さん笑いとお土産をたくさん抱えて、「楽しかったです」といって帰っていきました。

子どもたちが 大活躍の居場所

中野市 なかの子ども食堂



9月は「秋分の日」の23日（土）に開催。市内で大きなイベントも宣伝されている日で「参加者が少ないかもしれない」と、いつもの杞憂。でも、参加者は51人と計画通りでした。子どもが1人で、または2人でやってくる、食事直前に来て食べ終わるとさっと帰っていく家族もいました。もちろん、いつもの顔ぶれも。様々な思いで立ち寄ってくれるのだとしたら、「気軽に利用できる居場所」になってきているのだろうとうれしく思います。



「祭日だから来ることができた」という知り合いのスリランカ人。公民館の日本語教室の講師の方もここ何回か続けて来ています。今回は韓国料理で、スタッフが本場のコチュジャンとごま油を提供してくれたこともあって、「国際色豊かな子ども食堂になった」と思います。

10月28日のメニューは、竹輪のかば焼き+エリンギ+かぼちゃの煮物の一皿、浅漬け、豚汁、シナノゴールド、麦茶で、ご飯は木島平米の新米ご飯でした。

竹輪のかば焼きは、竹輪を開いて切り込みを入れて楊枝を刺す作業が手間取ります。これを6年生のボランティアが上手にやってくれました。ほかに、ごぼうのささがきやお皿拭きも。「ハロウィンビンゴ」を進めているのも高校生と小学生です。



はじめの頃からの常連の女の子は「やることありますか」ということが恥ずかしいそうです。大人のスタッフも、この子がそんなに恥ずかしがりやとは知らなくて、次回はこちらから声をかけて仕事を頼んで「やりたいけど、言い出せない」というところを後押ししてみたいです。



季節をいただく 秋満載のお弁当

茅野市 コミュ・キッチン天香

毎週木曜日に開く「コミュ・キッチン天香」、10月の参加者は、子ども366人と大人128人の合計494人でした。



10月5日のメニューは、さつまいもとシメジのご飯、トマトオムレツ、ズッキーニの漬物、グレープフルーツ。学習サポートはいつものようにマンツーマンでした。



10月12日は、餃子に駆けた五目あんかけは NPO ホットライン信州さんからいただいたフリーズドライをお湯で戻してから掛けました。

しっかりした味の五目あんかけなので餃子の味に負けることなく美味しくいただきました。紫キャベツとにんじんのピクルス、かぼちゃと夕顔の煮物、20世紀なし、ブロッコリー。かんでんぐらで、たまごプリンさんの管楽器アンサンブルが楽しめました。



10月18日は、栗ご飯、肉じゃが、りんご、プチゼリー。

前日から当日までみんなで懸命に栗の皮をむき、ようやく準備が整いました。たっぷりのお芋で肉じゃが。おりよくりんごの寄付もいただき、秋満載のお弁当になりました。



10月26日は、ケンタッキーチキンカレー、パスタサラダ、大学いも風サツマイモ。おいしいケンタッキーチキンのカレーに、もりもりのご飯とパスタサラダ。炭水化物だらけのお弁当でした。





みんなで楽しむ ハロウィン♡

松本市 ハロウィンときめき♡子ども食堂

10月14日(土)、主催：松本深志ライオンズクラブ、共催：NPO ホットライン信州（信州子ども食堂まつもと）が、松本市花時計公民館で開いた「ときめき♡子ども食堂」。子ども580名含む約870名(主催側発表1500人)が参加しました。



エクセラン高校生による「お菓子釣り大会」や「折り紙づくり」。キッチンカーによるおいしい餃子とチキンに長蛇の列ができました。ほかにも、キーマンカレーやホットコーヒー、ハロウィンクッキーなど。



会場では、ハロウィンときめきコンサート♪子ども達によるハロウィンステージにみんなが感動しました。



「信州子ども食堂」による支援物資や生理用品などの配布と個別相談コーナーなど、みんなでにぎやかにハロウィンを楽しみました。



「炊き出し隊」による非常食料理教室。



多くの皆さんの協力により成功裡に終わりました。皆さんお疲れさまでした。



親子でにぎわう 共食フェスタ700名

長野市 信州子ども食堂

共食でつながるフェスタ2日目、10月7日(土)の「信州子ども食堂」は、物価高騰などで生活に苦しむ家庭向けに食料品の提供する、約20を超える企業団体が、食育などをテーマに子どもたちが交流できる食育ブースを設けました。開始前から長蛇の列で、子ども480名を含む約700名が参加。家族連れで大賑わいでした。



会場の篠ノ井交流センターでは、物価高などで生活に苦しむ子育て中の親子らがマイバックを持参し、企業などから寄付された野菜やパンなどの食材を詰め、「とても助かります…」と感謝の言葉をいただきました。バルーンアート、駄菓子の詰め放題、ポッチャ、JAFによる子ども免許証の発行などの子ども体験会や、ハンドマッサージなど大人向けのもの、ぬいぐるみや服などのフリーマーケットが開かれました。




コロナ禍と物価高で苦勞している家族が多い中、相談コーナーで生活状態をお聞きし、必要物資を配布しました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



屋外ではテントがはられて、焼きそば、フランクフルト、おやきの振舞い。長野県産のりんごの皮むき大会も行われ、子どもたちは、皮の長さを競い合っていました。



最寄りの、企業や地域のスーパーのバロー、長野牛乳、信州ハム、ライオンズ、ロータリークラブ、八十二銀行、NHKなどが出店協力して来場者をあたたかく迎え、和気あいあいとした雰囲気、子どもたちの歓声と笑顔があふれる「共食フェスタ」となりました。



イベントには、信州の食の魅力を再発見するプロジェクトを進めているNHK長野放送局も参加し、モニターに映したマスコットキャラクターが、カメラで捉えた人の動きと同じ動きをする技術、「まねっこもぐたん」の体験会も行われ、子どもたちはカメラの前で思い思いのポーズをとっていました。



当日の様子がNHK ニュースで「食」をテーマに子どもたちが交流するイベント、と放映されました。
<https://www3.nhk.or.jp/inews/nagano/20231007/1010028377.html>



子ども食堂の取り組み知る一環
企業などから寄付された野菜・パン無料配布

まねっこもぐたん
モニターに映したマスコットキャラクターが
カメラで捉えた人の動きと同じ動きする技術

信州子ども食堂の広がり!!

～県内170ヶ所 約180,000名参加～



信州子ども食堂ネットワーク

なんでも相談 0120-914-994